

ウイルス生態学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Fujii Y, Suwa A, Tsuyuki Y, Koyama K, Nio-Kobayashi J, Yoshii K: The First Case of a Cat Infected with Burkholderia pseudomultivorans, a Member of the Burkholderia cepacia Complex. Veterinary sciences 11(11): 2024. doi: 10.3390/vetsci11110559.
2. Ikegawa M, Kano N, Ori D, Fukuta M, Hirano M, Hewson R, Yoshii K, Kawai T, Kawasaki T: HuR (ELAVL1) regulates the CCHFV minigenome and HAZV replication by associating with viral genomic RNA. PLOS Neglected Tropical Diseases 18(9): e0012553, 2024. doi: 10.1371/journal.pntd.0012553.

B 邦文

B-b

1. 渡 慧,三津橋和也,田宮和真,小林進太郎,好井健太郎,松田麻未,鈴木亮介,山口宏樹：北海道におけるダニ媒介脳炎の発生状況調査およびその新規診断法について. 臨床とウイルス 52(1): 11-18, 2024.
2. 好井健太郎：神経感染症の診断Up-to Date ダニ媒介性脳炎 日本に潜在する感染のリスクと課題. NEUROINFECTION 29(2): 100, 2024.
3. 好井健太郎：ダニが媒介する感染症：ダニ媒介性脳炎について. 長崎市医師会報 (688): 3-5, 2024.
4. 平野 港,好井健太郎：【ウイルスと精神神経症状】ダニ媒介性脳炎ウイルスによる神経病態の発症機序. ファルマシア 60(1): 16-20, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	2	1	31

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
好井健太郎・教授	常任世話人	トガ・フラビ・ペスチウイルス研究会
好井健太郎・教授	評議委員	日本獣医学会
好井健太郎・教授	幹事	ヒトと動物の共通感染症研究会
好井健太郎・教授	事務局	日本脳炎ウイルス生態学研究会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
好井健太郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）「マダニ感染モデルを用いたダニ媒介性ウイルスの感染機構解明に向けた国際共同研究」
好井健太郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「新規脳内分子輸送法を応用したウイルス性中枢神経疾患に対する発展的治療法の開発」
好井健太郎・教授	日本医療研究開発機構	代表	新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）「多分野融合による節足動物媒介性ウイルスの宿主間伝播・病態形成機構の解明と治療法創出に関する研究開発」
好井健太郎・教授	国立精神・神経医療研究センター病院		日本における原因不明の感染症が疑われるCNS疾患患者のうち、ダニ媒介脳炎ウイルス（TBEV）及び Borrelia burgdorferi sensu lato群の遺伝子種に属する細菌 による感染が疑われたものの割合を明らかにする研究

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
好井健太郎・教授	マダニ感染SFTS、人から人に	日本経済新聞	2024年5月28日	マダニ媒介性ウイルスに関する解説を行った。
好井健太郎・教授	デング熱増殖 一部解明	読売新聞	2024年9月19日	デングウイルスの論文に関する解説を行った。

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
好井健太郎・教授	九州地区獣医師会連合会長賞	九州地区獣医師会連合会	Subviral particlesを抗原とした豚の日本脳炎ウイルス抗体検出用ELISAの構築